

令和 2 年度（2020年度）

区民意識意向調査

【 概 要 版 】

この小冊子は、令和 2 年11月に実施した「令和 2 年度（2020年度）区民意識意向調査」の概要版です。調査の結果については、今後の区政運営の基礎資料として活用いたします。ご協力いただいた区民の皆様に心から感謝申し上げます。

< 調査の概要 >

- ①調査対象 …………… 練馬区在住の満20歳以上の男女3,000名を
住民基本台帳から層化二段無作為抽出
- ②調査方法 …………… 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ③調査期間 …………… 令和 2 年11月 2 日（月）～11月25日（水）
- ④回収状況 …………… 有効回収数 1,332 回収率 44.4%
- ⑤調査テーマ …………… 1 区の施策および評価について

■ 数字の表示について

- （1）図表中「n」とは、その質問への回答者総数のことです。
- （2）回答は、回答者総数を100%として算出し、小数点第 2 位を四捨五入してあります。
このため、回答率の合計が100%にならない場合があります。
- （3）複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合があります。

「令和 2 年度（2020年度）区民意識意向調査報告書」（全文）
については、区ホームページや図書館などをご覧ください。

令和 3 年（2021年） 3 月

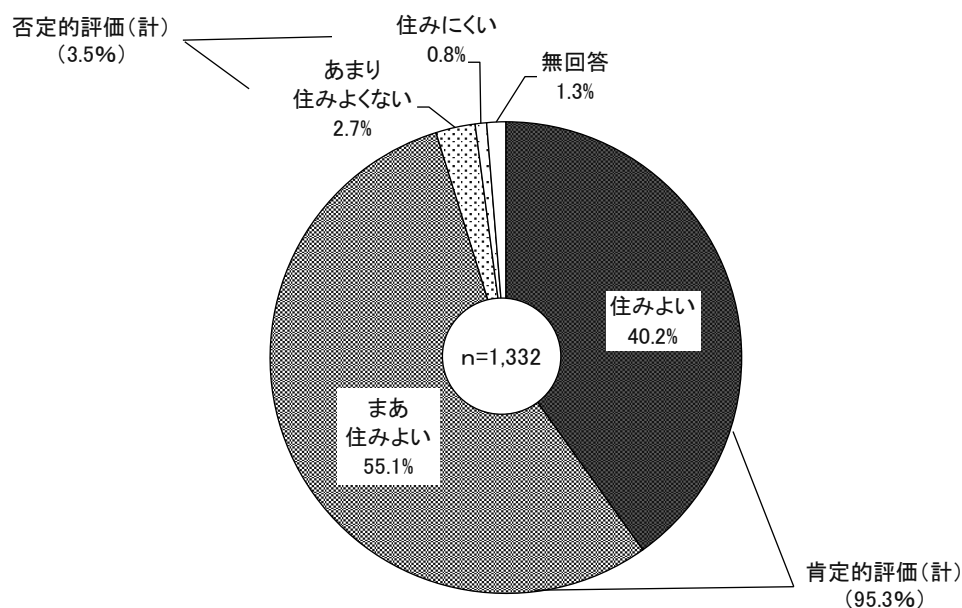
発 行 練馬区 区長室 広聴広報課
〒176-8501 練馬区豊玉北 6 丁目12番 1 号
電話 03-5984-4501 （ダイヤルイン）

1 区の施策および評価について

(1) 住みごころ

◇『肯定的評価』が9割台半ば

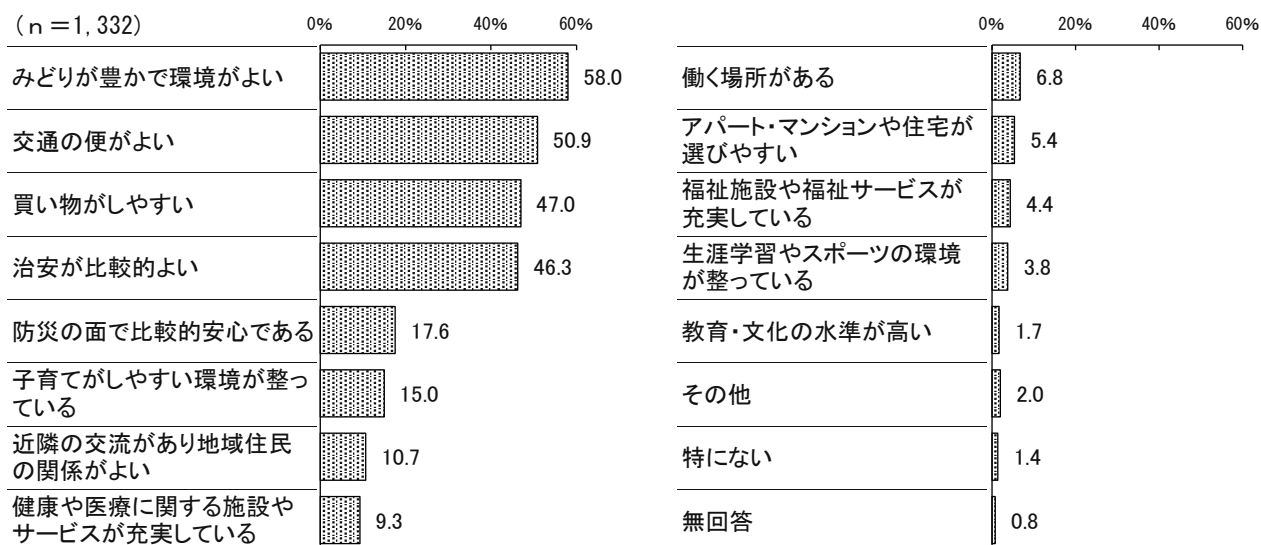
「住みよい」（40.2％）と「まあ住みよい」（55.1％）を合わせた『肯定的評価』（95.3％）が9割台半ばとなっている。



(2) 練馬区が住みよいと感じるところ

◇「みどりが豊かで環境がよい」が6割近く

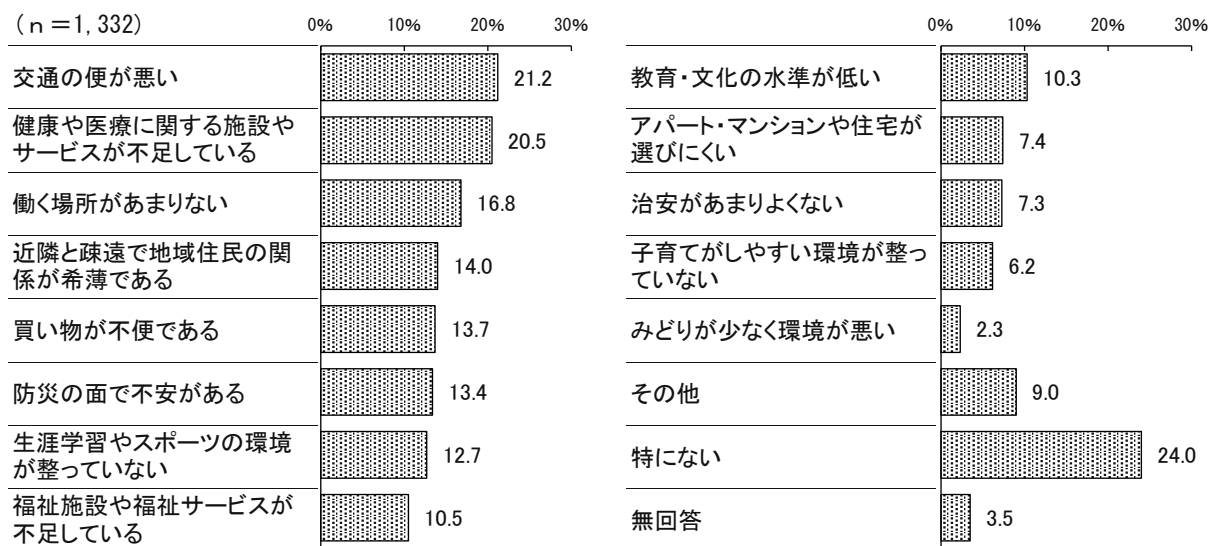
「みどりが豊かで環境がよい」（58.0％）が6割近くと最も多く、次いで「交通の便がよい」（50.9％）、「買い物がしやすい」（47.0％）、「治安が比較的よい」（46.3％）、「防災の面で比較的安心である」（17.6％）などの順となっている。



(3) 練馬区が住みにくいと感じるところ

◇「交通の便が悪い」が2割を超える

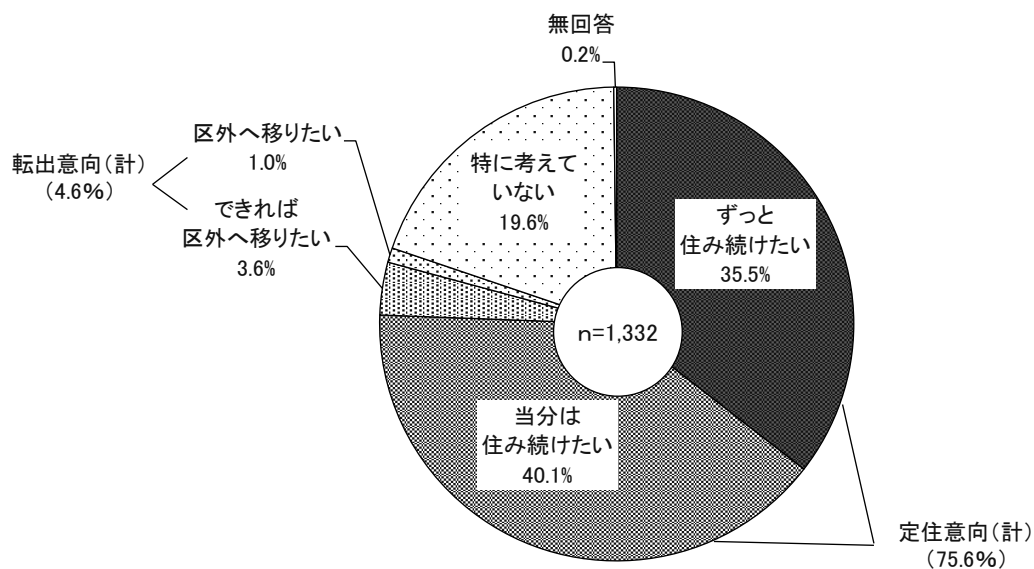
「交通の便が悪い」(21.2%)が2割を超えて最も多く、次いで「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」(20.5%)、「働く場所があまりない」(16.8%)、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」(14.0%)などの順となっている。



(4) 定住意向

◇『定住意向』が7割台半ば

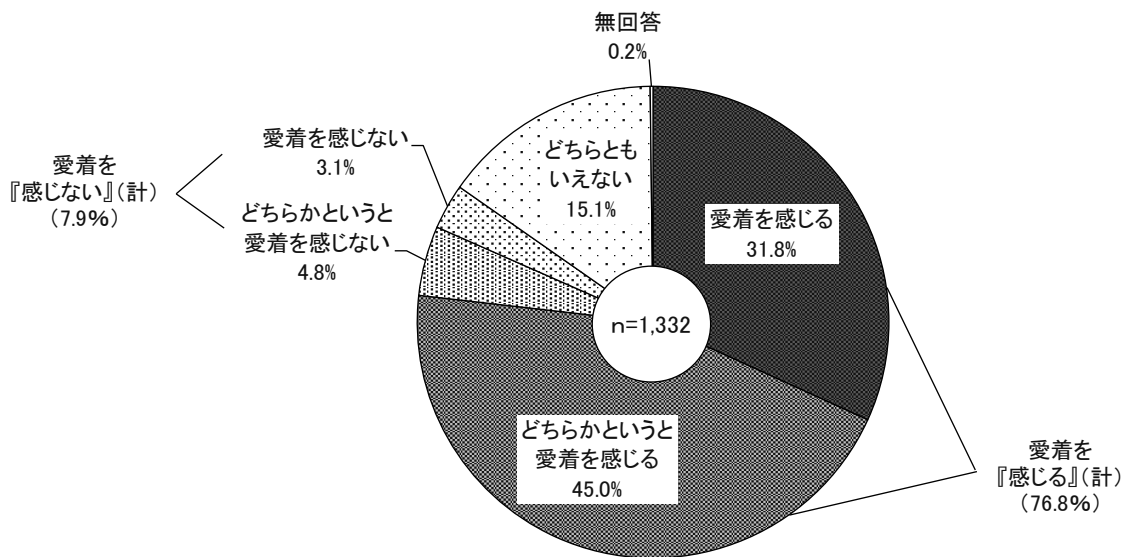
「ずっと住み続けたい」(35.5%)と「当分は住み続けたい」(40.1%)を合わせた『定住意向』(75.6%)が7割台半ばとなっている。一方、『転出意向』(4.6%)は1割を下回っている。



(5) 練馬区への愛着

◇愛着を『感じる』が7割台半ば

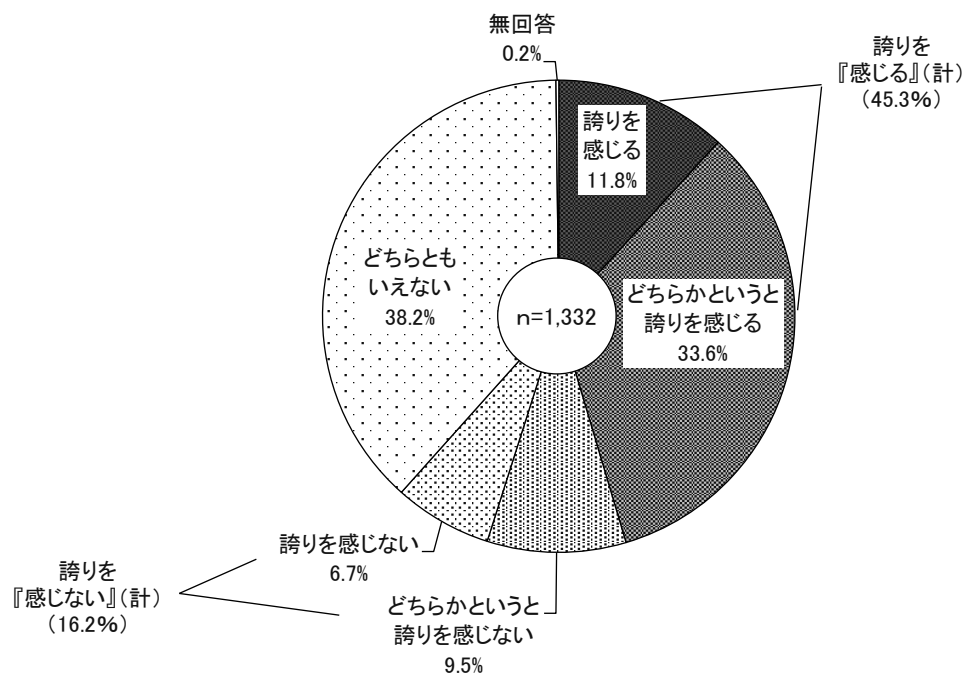
「愛着を感じる」(31.8%)と「どちらかというと愛着を感じる」(45.0%)を合わせた、愛着を『感じる』(76.8%)が7割台半ばとなっている。一方、愛着を『感じない』(7.9%)は1割を下回っている。



(6) 練馬区に対する誇り

◇誇りを『感じる』が4割台半ば

「誇りを感じる」(11.8%)と「どちらかというと誇りを感じる」(33.6%)を合わせた、誇りを『感じる』(45.3%)が4割台半ばとなっている。一方、誇りを『感じない』(16.2%)は1割台半ばとなっている。



(7) 施策の満足度

◇満足度の高い施策は「みどりの保全と創出」が約8割

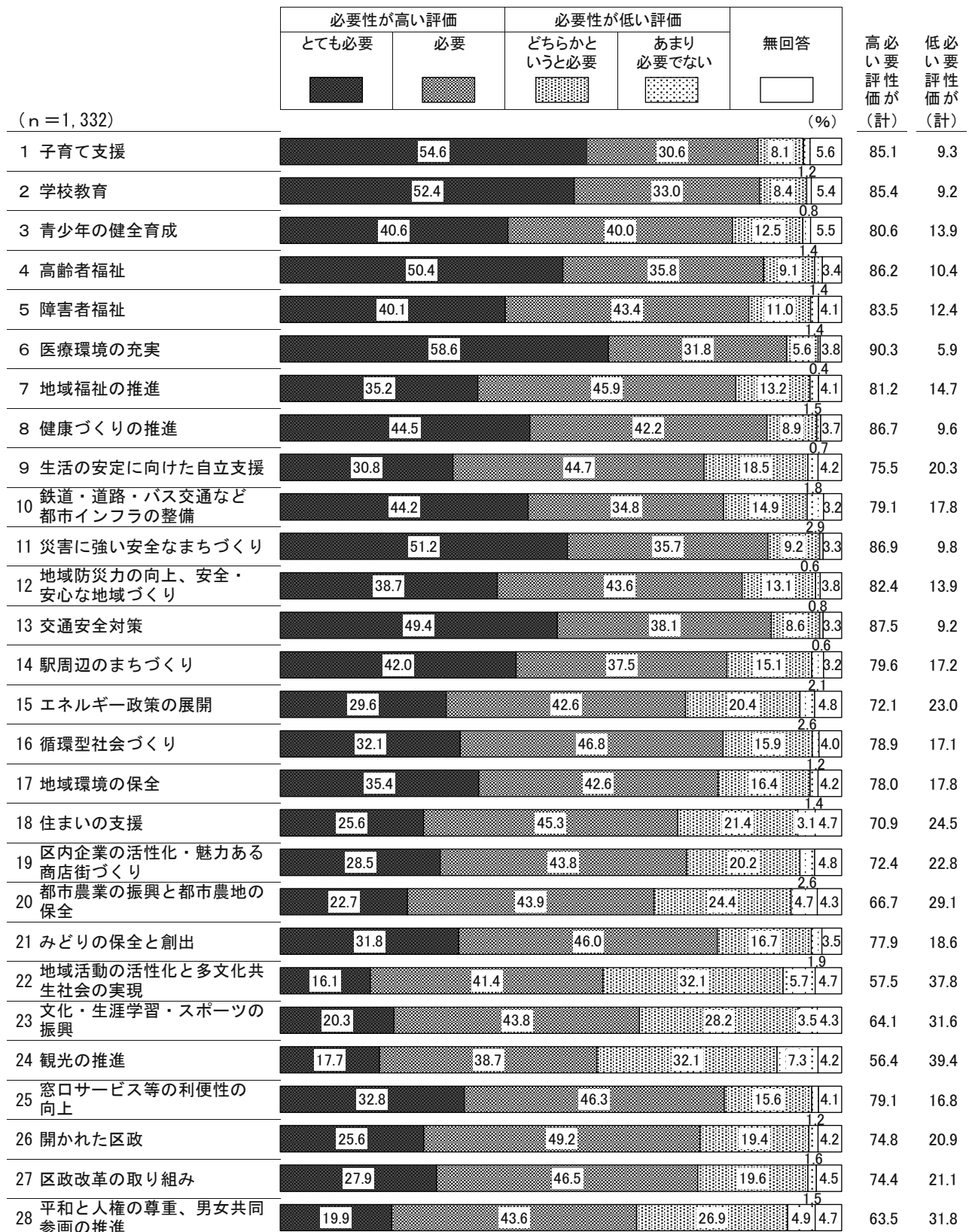
『満足評価』は「みどりの保全と創出」（79.1%）が約8割と最も多く、次いで「健康づくりの推進」（76.0%）、「循環型社会づくり」（73.9%）などの順となっている。

	満足評価		不満評価		無回答	満足 評価 (計)	不満 評価 (計)
	満足 ■	どちらか というと満足 ■	どちらか というと不満 ■	不満 ■			
(n=1,332)	(%)						
1 子育て支援	9.1	60.1	16.3	3.9	10.7	69.1	20.2
2 学校教育	6.2	58.9	20.6	3.8	10.6	65.0	24.4
3 青少年の健全育成	5.6	57.3	23.6	3.5	10.1	62.8	27.1
4 高齢者福祉	7.4	58.6	21.5	4.0	8.6	65.9	25.5
5 障害者福祉	5.9	58.6	21.5	3.0	11.0	64.5	24.5
6 医療環境の充実	6.5	47.6	32.1	5.9	8.0	54.1	38.0
7 地域福祉の推進	4.8	56.2	26.2	3.3	9.5	61.0	29.5
8 健康づくりの推進	11.9	64.0	15.8	3.0	5.3	76.0	18.8
9 生活の安定に向けた自立支援	5.5	57.6	22.5	3.7	10.7	63.1	26.2
10 鉄道・道路・バス交通など 都市インフラの整備	16.4	42.7	27.3	11.8	1.8	59.1	39.1
11 災害に強い安全なまちづくり	7.0	52.4	31.1	5.4	4.1	59.4	36.5
12 地域防災力の向上、安全・ 安心な地域づくり	6.1	58.3	26.4	3.7	5.6	64.3	30.0
13 交通安全対策	5.3	36.9	39.0	15.4	3.4	42.2	54.4
14 駅周辺のまちづくり	9.5	44.4	31.8	11.6	2.8	53.8	43.4
15 エネルギー政策の展開	2.9	49.9	34.1	4.7	8.5	52.8	38.7
16 循環型社会づくり	8.9	65.0	17.0	4.0	5.0	73.9	21.0
17 地域環境の保全	8.1	49.4	28.4	10.0	4.1	57.5	38.4
18 住まいの支援	5.0	54.4	27.8	4.4	8.5	59.4	32.1
19 区内企業の活性化・魅力ある 商店街づくり	4.2	43.2	37.2	8.3	7.1	47.4	45.5
20 都市農業の振興と都市農地の 保全	9.8	61.3	19.2	3.0	6.8	71.0	22.2
21 みどりの保全と創出	19.3	59.8	13.7	3.9	3.3	79.1	17.6
22 地域活動の活性化と多文化共 生社会の実現	5.6	57.4	26.1	3.9	7.0	63.0	30.0
23 文化・生涯学習・スポーツの 振興	5.8	55.6	27.5	4.3	6.8	61.4	31.8
24 観光の推進	4.7	46.3	36.5	7.1	5.4	51.0	43.6
25 窓口サービス等の利便性の 向上	7.7	56.8	24.6	6.4	4.4	64.6	31.0
26 開かれた区政	6.7	58.4	24.6	4.6	5.7	65.1	29.2
27 区政改革の取り組み	4.4	55.3	27.5	5.6	7.3	59.7	33.0
28 平和と人権の尊重、男女共同 参画の推進	4.6	58.2	25.5	3.8	8.0	62.8	29.3

(8) 施策の必要性

◇必要性の高い施策は「医療環境の充実」が約9割

「医療環境の充実」(90.3%)が約9割と最も多く、次いで「交通安全対策」(87.5%)、「災害に強い安全なまちづくり」(86.9%)、「健康づくりの推進」(86.7%)、「高齢者福祉」(86.2%)などの順となっている。



(9) 施策への要望

◇「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が2割を超える

特に力を入れてほしい施策を第1位から第3位まで挙げてもらった。その3つの累計をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(23.1%)が2割を超えて最も多く、次いで「交通安全対策」(19.9%)、「医療環境の充実」(18.5%)、「駅周辺のまちづくり」(16.8%)、「高齢者福祉」(16.7%)などの順となっている。



(10) 施策への要望－過年度比較

◇「鉄道・道路・バス交通など都市インフラ整備」が6年連続で第1位

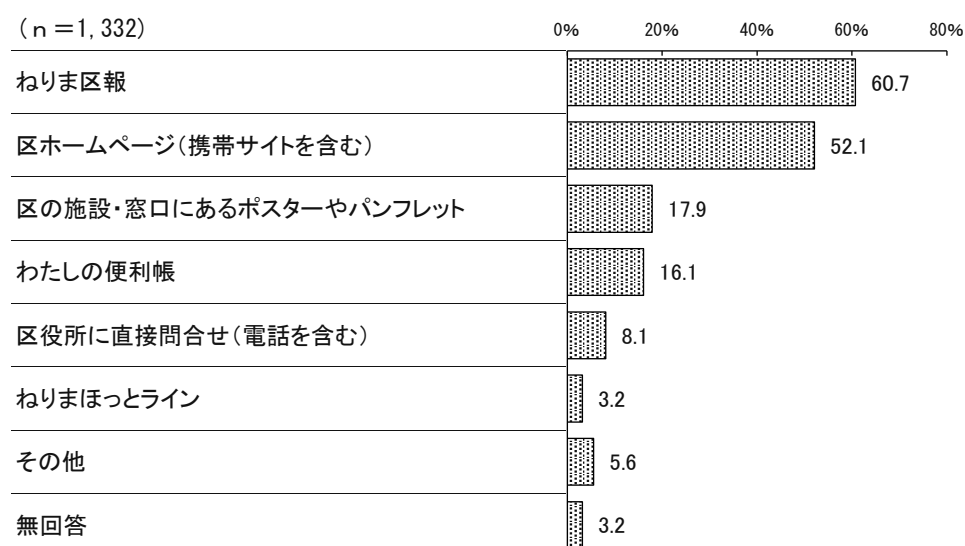
過去の調査と比較すると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が6年連続で第1位、「交通安全対策」が5年連続で第2位となっている。

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
令和2年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	医療環境の充実	駅周辺のまちづくり	高齢者福祉
令和元年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	災害に強い安全なまちづくり
平成30年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	医療環境の充実	高齢者福祉	子育て支援
平成29年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	子育て支援	高齢者福祉	医療環境の充実
平成28年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	駅周辺のまちづくり
平成27年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	高齢者福祉	交通安全対策	子育て支援	医療環境の充実

(11) 区政情報の入手先

◇「ねりま区報」が約6割

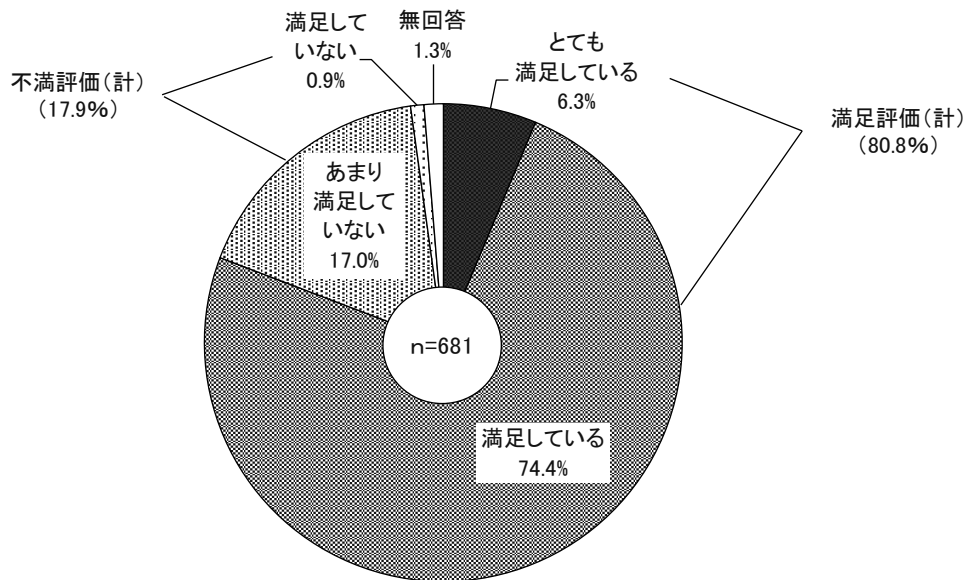
「ねりま区報」（60.7%）が約6割と最も多く、次いで「区ホームページ（携帯サイトを含む）」（52.1%）、「わたしの便利帳」（17.9%）、「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」（16.1%）などの順となっている。



(12) 『ねりま区報』の満足度

◇『満足評価』が約8割

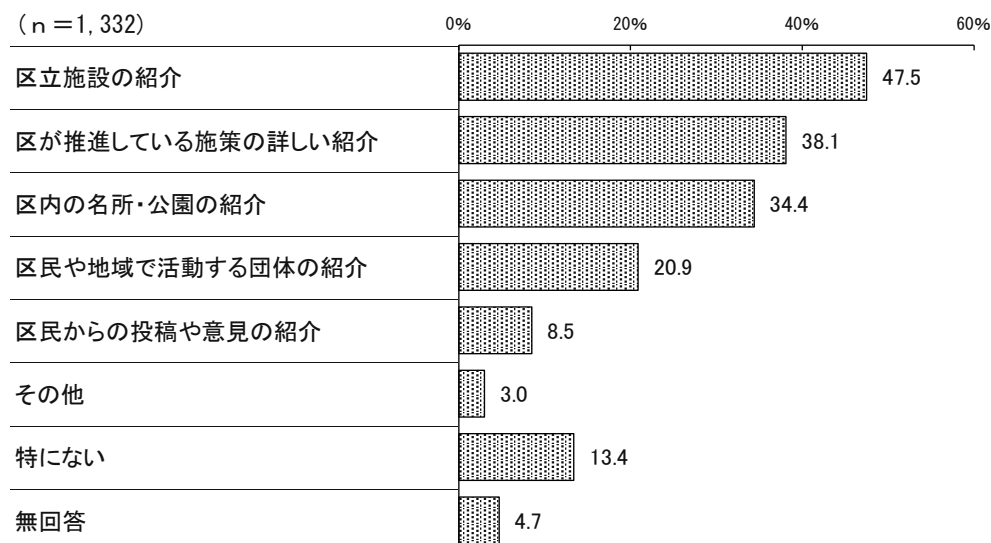
『ねりま区報』を「詳しく読んでいる」または「必要な記事は読んでいる」と答えた方（681人）に、『ねりま区報』にどの程度満足しているか聞いたところ、「とても満足している」（6.3%）と「満足している」（74.4%）を合わせた『満足評価』（80.8%）が約8割となっている。一方、『不満評価』（17.9%）は2割近くとなっている。



(13) 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容（企画）

◇「区立施設の紹介」が5割近く

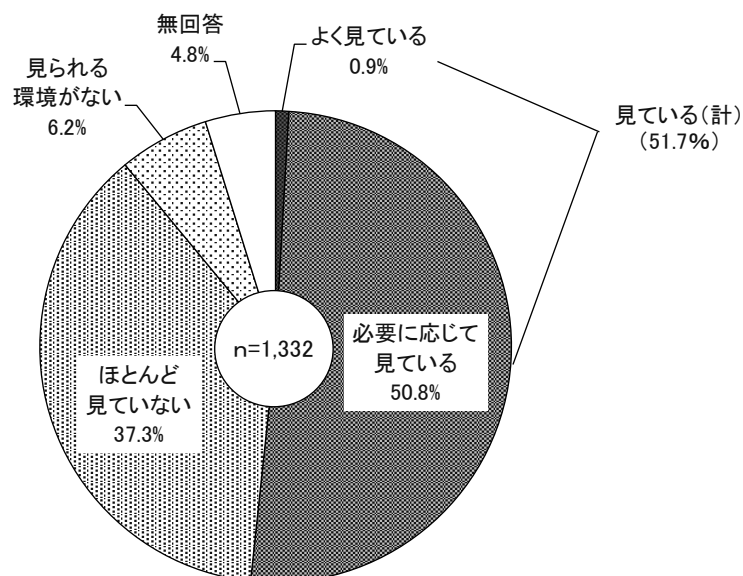
「区立施設の紹介」（47.5%）が5割近くと最も多く、次いで「区が推進している施策の詳しい紹介」（38.1%）、「区内の名所・公園の紹介」（34.4%）、「区民や地域で活動する団体の紹介」（20.9%）などの順となっている。



(14) 『区ホームページ』の閲覧状況

◇『見ている』が5割を超える

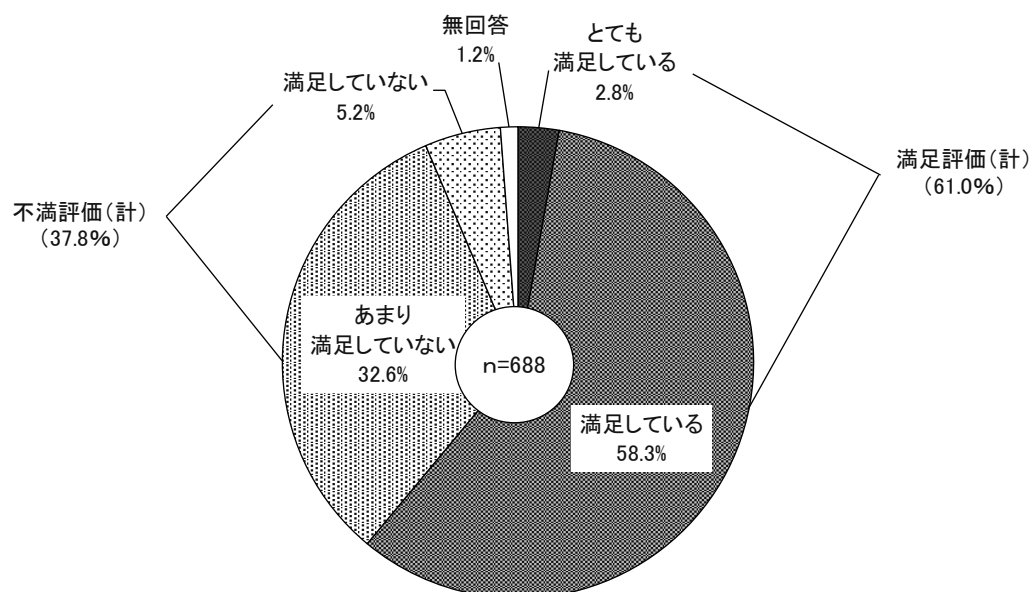
「よく見ている」（0.9%）と「必要に応じて見ている」（50.8%）を合わせた、『見ている』（51.7%）が5割を超えている。一方、「ほとんど見ていない」（37.3%）は4割近くとなっている。



(15) 『区ホームページ』の閲覧情報の見つけやすさ・わかりやすさの満足度

◇『満足評価』が6割を超える

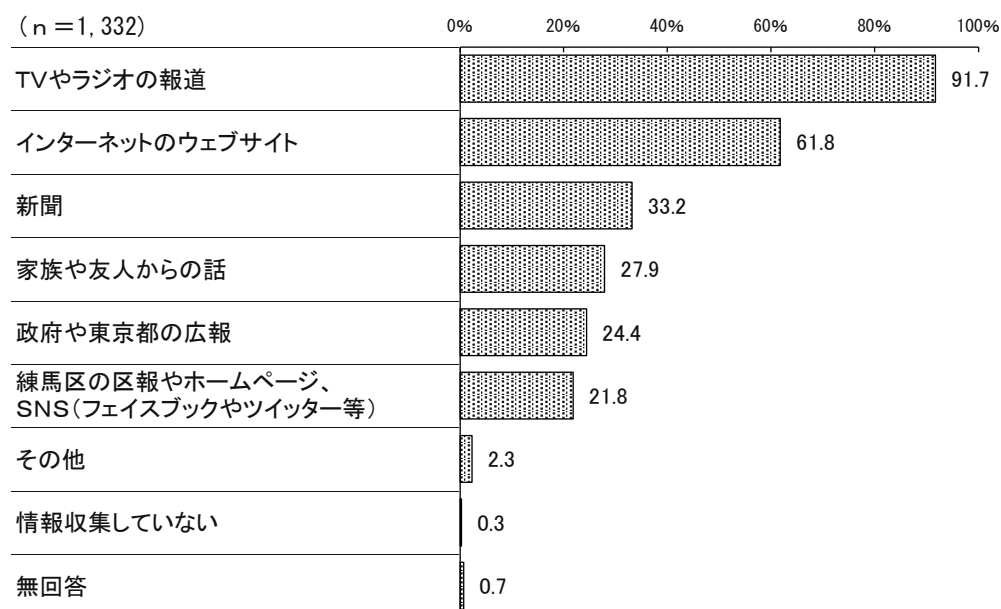
『区ホームページ』を「よく見ている」または「必要に応じて見ている」と答えた方（688人）に閲覧している情報の見つけやすさ・わかりやすさの満足度を聞いたところ、「とても満足している」（2.8%）と「満足している」（58.3%）を合わせた、『満足評価』（61.0%）が6割を超えている。一方、『不満評価』（37.8%）は4割近くとなっている。



(16) 新型コロナウイルス感染症に関する情報の入手経路

◇「TVやラジオの報道」が9割を超える

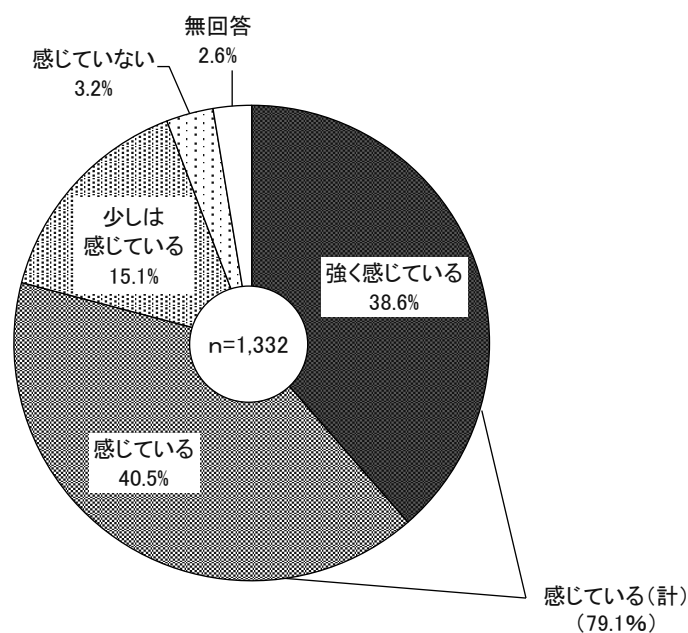
「TVやラジオの報道」(91.7%)が9割を超えて最も多く、次いで「インターネットのウェブサイト」(61.8%)、「新聞」(33.2%)、「家族や友人からの話」(27.9%)、「政府や東京都の広報」(24.4%)などの順となっている。



(17) 新型コロナウイルス感染症に対して不安を感じる程度

◇『感じている』が約8割

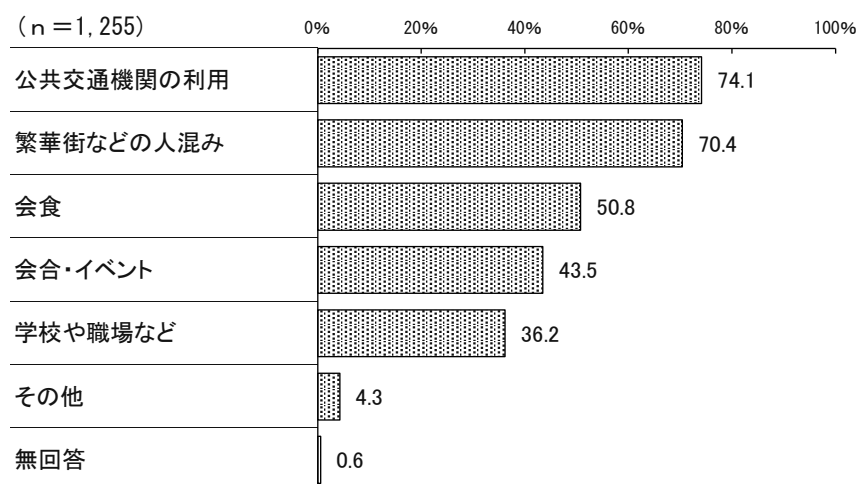
「強く感じている」(38.6%)と「感じている」(40.5%)を合わせた『感じている』(79.1%)は約8割となっている。一方、「感じていない」(3.2%)は1割を下回っている。



(18) 新型コロナウイルス感染症に対して不安を感じる場面

◇「公共交通機関の利用」が7割台半ば

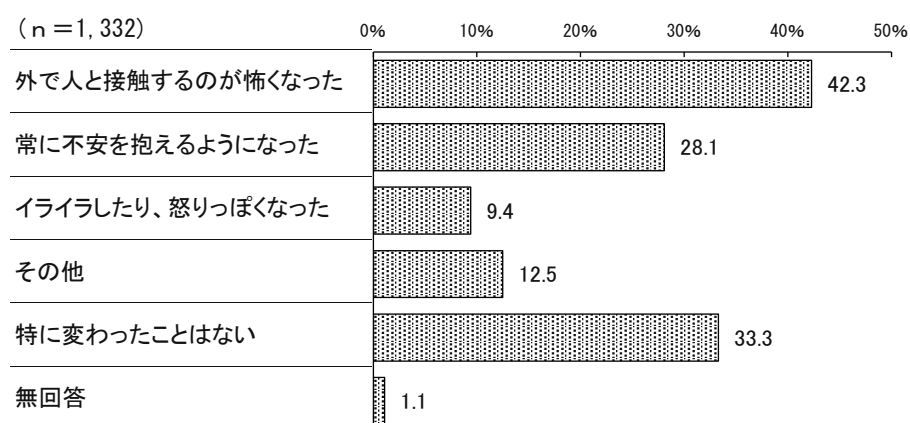
新型コロナウイルス感染症に対して不安を「強く感じている」「感じている」「少しは感じている」と答えた方（1,255人）に、不安を感じる場面を聞いたところ、「公共交通機関の利用」（74.1%）が7割台半ばと最も多く、次いで「繁華街などの人混み」（70.4%）、「会食」（50.8%）、「会合・イベント」（43.5%）などの順となっている。



(19) 「新型コロナウイルスによる影響が及ぶ前」と比べての精神的・身体的な変化

◇「外で人と接触するのが怖くなった」が4割を超える

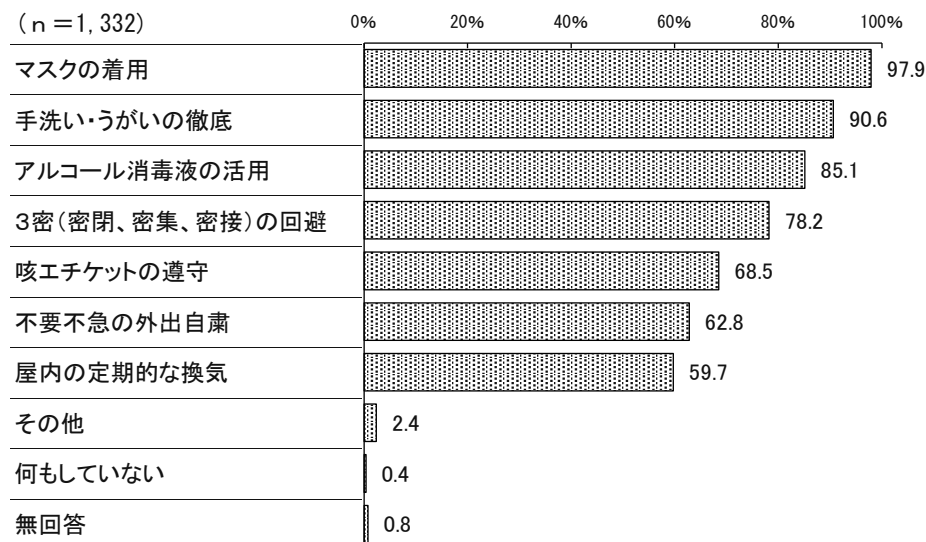
「外で人と接触するのが怖くなった」（42.3%）が4割を超えて最も多く、次いで「常に不安を抱えるようになった」（28.1%）が3割近く、「イライラしたり、怒りっぽくなった」（9.4%）が約1割となっている。一方、「特に変わったことはない」（33.3%）は3割台前半となっている。



(20) 新型コロナウイルス感染症に対する対策

◇「マスクの着用」が最も多い

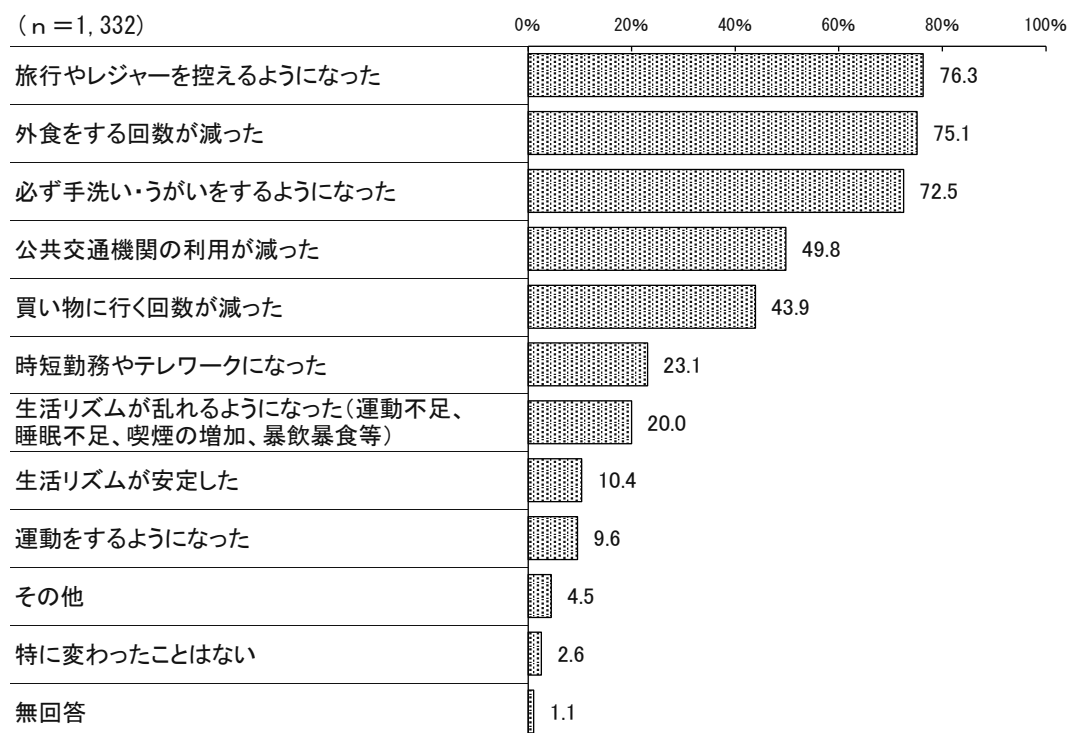
「マスクの着用」(97.9%)が最も多く、次いで「手洗い・うがいの徹底」(90.6%)、「アルコール消毒液の活用」(85.1%)、「3密(密閉、密集、密接)の回避」(78.2%)、「咳エチケットの遵守」(68.5%)などの順となっている。



(21) 「新型コロナウイルスによる影響が及ぶ前」と比べての日常生活の変化

◇「旅行やレジャーを控えるようになった」「外食をする回数が減った」が7割台半ば

「旅行やレジャーを控えるようになった」(76.3%)が7割台半ばと最も多く、次いで「外食をする回数が減った」(75.1%)、「必ず手洗い・うがいをするようになった」(72.5%)、「公共交通機関の利用が減った」(49.8%)、「買い物に行く回数が減った」(43.9%)などの順となっている。



(22) 自分が一番できている（一番できそうな）日常生活の新しい生活様式

◇買い物は「レジ前に並ぶ際、間隔を空ける」が約4割

◇娯楽・スポーツは「ウォーキングやジョギングは1人あるいは少人数で行う」が3割台半ば

◇食事は「テイクアウトやデリバリーを利用する」が3割台前半

◇公共交通機関は「利用したらなるべくすぐ手を洗う」が約3割

買い物は「レジ前に並ぶ際、間隔を空ける」（39.9%）が約4割と最も多くなっている。娯楽・スポーツは「ウォーキングやジョギングは1人あるいは少人数で行う」（36.0%）が3割台半ばと最も多くなっている。食事は「テイクアウトやデリバリーを利用する」（32.3%）が3割台前半と最も多くなっている。公共交通機関は「利用したらなるべくすぐ手を洗う」（30.6%）が約3割と最も多くなっている。

	n						(%)
①買い物	(1,332)	23.9	15.2	16.3	39.9	4.8	

少人数・すいた時間・短時間で済ませる	通販やインターネットショッピングを利用する	支払い方法を電子決済にする	レジ前に並ぶ際、間隔を空ける	無回答
				

	n						(%)
②娯楽・スポーツ	(1,332)	26.5	36.0	8.8	22.6	6.2	

オンライン動画を活用して外出を避ける	ウォーキングやジョギングは1人あるいは少人数で行う	複数人で運動する時は2m程度の距離を保つ	公園等は混雑時間を避ける	無回答
				

	n						(%)
③食事	(1,332)	32.3	27.0	18.1	17.5	5.1	

テイクアウトやデリバリーを利用する	お箸やお皿の共用を避ける	対面に座らないよう席の位置を工夫する	食事中的おしゃべりは控えめにする	無回答
				

	n						(%)
④公共交通機関	(1,332)	27.2	22.1	15.2	30.6	4.9	

混んでいる時間帯を避ける	徒歩や自転車を利用する	会話を控えめにする	利用したらなるべくすぐ手を洗う	無回答
				



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

本紙は、古紙パルプ配合率70%の再生紙を使用しています。このマークは、3 R 活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています。